報道関係者各位

阪南大学　HU.NEWS プレスリリース

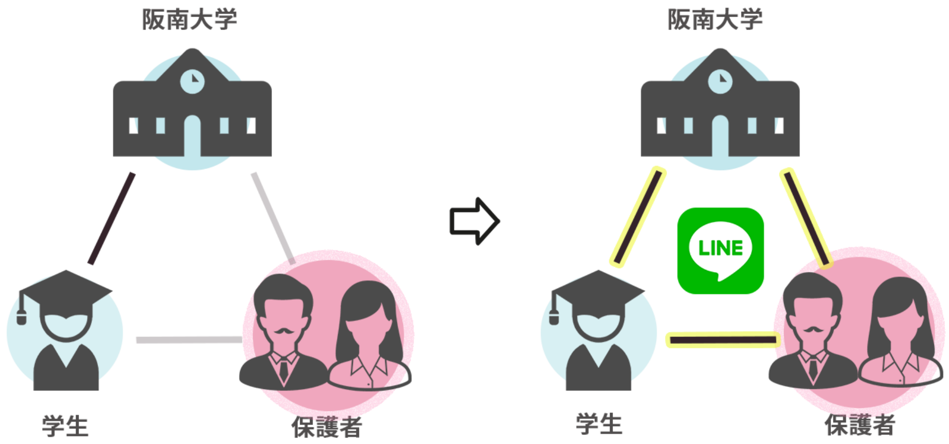
2021.1.22

コロナ禍でもコミュニケーションはより″密″に
LINE を活用した在学生・保護者向け DX ツールを導入

阪南大学（所在地：大阪府松原市、学長：田上 博司、以下、本学という）は、コロナ禍において日々状況が変化する中、在学生とその保護者を対象に、情報発信やコミュニケーションの強化のため、2020 年 12 月 21 日から、**LINE を活用したメッセージ配信や FAQ チャットボット機能を搭載している DX（デジタルトランスフォーメーション）ツールを導入しました。**

この DX ツールを活用することで、大学・在学生・保護者間の関係性を強め、**退学等の離学を防ぐ効果を見込んでいます**。

報道関係の皆様方にはご多忙の折とは存じますが、ぜひ本件について番組、紙面等でお取り上げいただきたく、ご案内申し上げます。



LINE を通じることで、大学・在学生・保護者間の関係性を強化します。

【導入背景】

本学では、在学生の学修支援に加え、保護者への情報発信を行うことが大切であると考え、大学からの情報や子どもの学修状況（出席状況や成績等）の把握が可能な保護者向けポータルサイト「HUPAS」をオンライン上で展開し、日々のサポートを行っています。

しかし、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、刻々と状況が変化する中、大学が発信する情報について、今まで以上に在学生や保護者からの関心が高まっています。

このような背景から、大学からの情報発信や在学生・保護者とのコミュニ―ケーションをより一層強化するために、在学生・保護者の利用率が高い LINE を活用した DX ツールを導入することに至りました。

365 日 24 時間、時間場所を問わず利用できる LINE を活用することで、学生は知りたい情報や疑問点等を手軽に調べることが可能となります。一方で、保護者は既存ポータルサイト「HUPAS」と相互活用することで、大学情報や子どもの成績等学修状況を手軽に把握し、子どもの異変に早期に気付くことで学修サポートを行うことが可能となります。

これらの相乗効果から、DX ツールによって大学・保護者から学生へのサポート体制を強めることができ、離学を防ぐ効果を見込んでいます。

【DX ツール導入で実施できること】

今回は、transcosmos online communications 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：貝塚 洋）が提供している DX ツール「KANAMETO（カナメト）」を活用し、「阪南大学 LINE 公式アカウント」（アカウント名：阪南大学 Info）を作成しました。これにより、このアカウントと友だちになることで、以下の支援が実現可能となりました。

- 新型コロナウイルス関連などの大学からの情報を、**学年や学部等の学生情報に応じてセグメント配信。**
- 授業等の学修内容に関する疑問を手軽に解決するため **Q&A 形式によるチャットボットを搭載。** これにより「授業方法」「課題」「出席・欠席」「休講・補講」等について、知りたい情報を調べることができます。また、既存の学生向けポータルサイト「HInT」や保護者向けポータルサイト「HUPAS」への的確な誘導を行います。

LINE のメニュー画面

学生と保護者の双方がチャットボットから
授業に関する情報を手軽に調べられる！

- **授業方法**
- **課題**
- **出席・欠席**
- **休講・補講**
- **授業ツール**
- **通信環境**
- **教室**

【今後の展開】

今後は利用者の増加を図っていくとともに、2021 年 5 月から、**有人対応による 1:1 トーク機能の追加導入を予定**しています。

これにより、チャットボットで対応できなかった疑問点や相談についてより細やかな対応が可能となり、大学と在学生・保護者との更なるコミュニケーション強化を図ってまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】
阪南大学　総務企画課：井上、小原（オハラ）
電話：072-332-1224（代）　FAX：072-336-2633　e-mail：webmaster@hannan-u.ac.jp